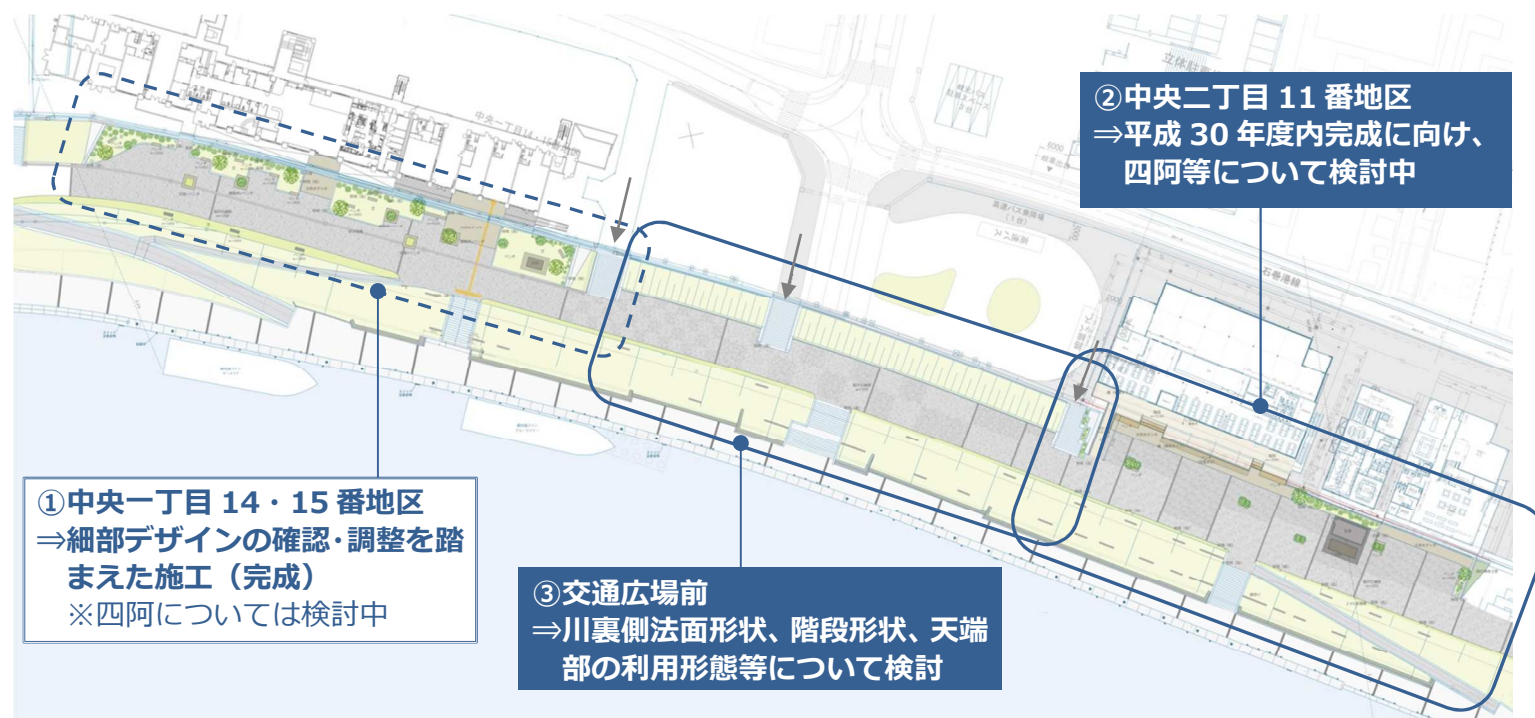


4 中央・門脇一丁目地区

当該地区については、以下のデザイン案等について検討を行っている。



①中央一丁目 14・15番地区

中央一丁目 14・15番地区の堤防一体空間について、先行して施工が進んでいる状況であり、樹木・照明・ベンチ等の配置等について、関係各機関との協議ならびに、施工業者も交えた現場での確認・調整を行いながら施工を実施した。また、市民団体「はなはなプロジェクト」より祇園シダレザクラを寄贈いただき、地元の方々にも参加いただき、植樹会を行った。

平成30年5月10日（木）完成

平成30年5月25日（金）
住民、市・国の関係者による完成お披露目会

②中央二丁目 11番地区

過年度に検討を行った堤防一体空間の植栽、休憩施設（ベンチ・パーゴラ）、舗装等について、関係者・住民の方々等と意見交換を行いながら、見直し設計中。また、未設計の四阿についても検討を進め、平成30年度内の完成を目標としている。

③交通広場前

堤防天端幅 $w=6.0m$ 、拡幅幅 $w=4.5m$ を基本とし、川裏側の法面形状、階段部の形状、堤防一体空間の植栽、ベンチ等の配置、排水等について検討を行っており、平成30年度内の完成を目標としている。

- ◎川裏側法面の基本形状は、勾配1:2.0の法面とし、法尻擁壁部の上部に植栽を施すことで、万が一の転落の際の緩衝帯となる「法尻植栽案」とする。
- ◎堤防一体空間は、キッチンカーの設置スペースを設けつつ、高木植栽をアクセントとして景観に変化と彩りを演出する

■経緯

①中央一丁目 14・15番地区

第30回～第34回地区別ワーキング
川表側法面の腰掛け設置について

中央・門脇一丁目地区 市民部会「中央門脇 川と未来の会」 H29.11.23
全体計画、各箇所の整備案を提示し、意見聴取

施工時の現地調整 H30.1.23
樹木・照明・ベンチ等の配置について、現場で確認しながら調整

祇園シダレザクラの植樹会 H30.2.28
市民団体「はなはなプロジェクト」より祇園シダレザクラを寄贈いただき、地元の方々による植樹会を実施

現地確認 H30.4.19
配管の処理等、細部の最終確認

完成 H30.5.10

完成お披露目会 H30.5.25

②中央二丁目 11番地区

③交通広場前

川裏側の法面処理について

第35回～第38回
地区別ワーキング
・川裏側の法面処理について
・施設レイアウトについて

第41回地区別ワーキング
・川裏側の法面処理（階段部
のおさめ方）について

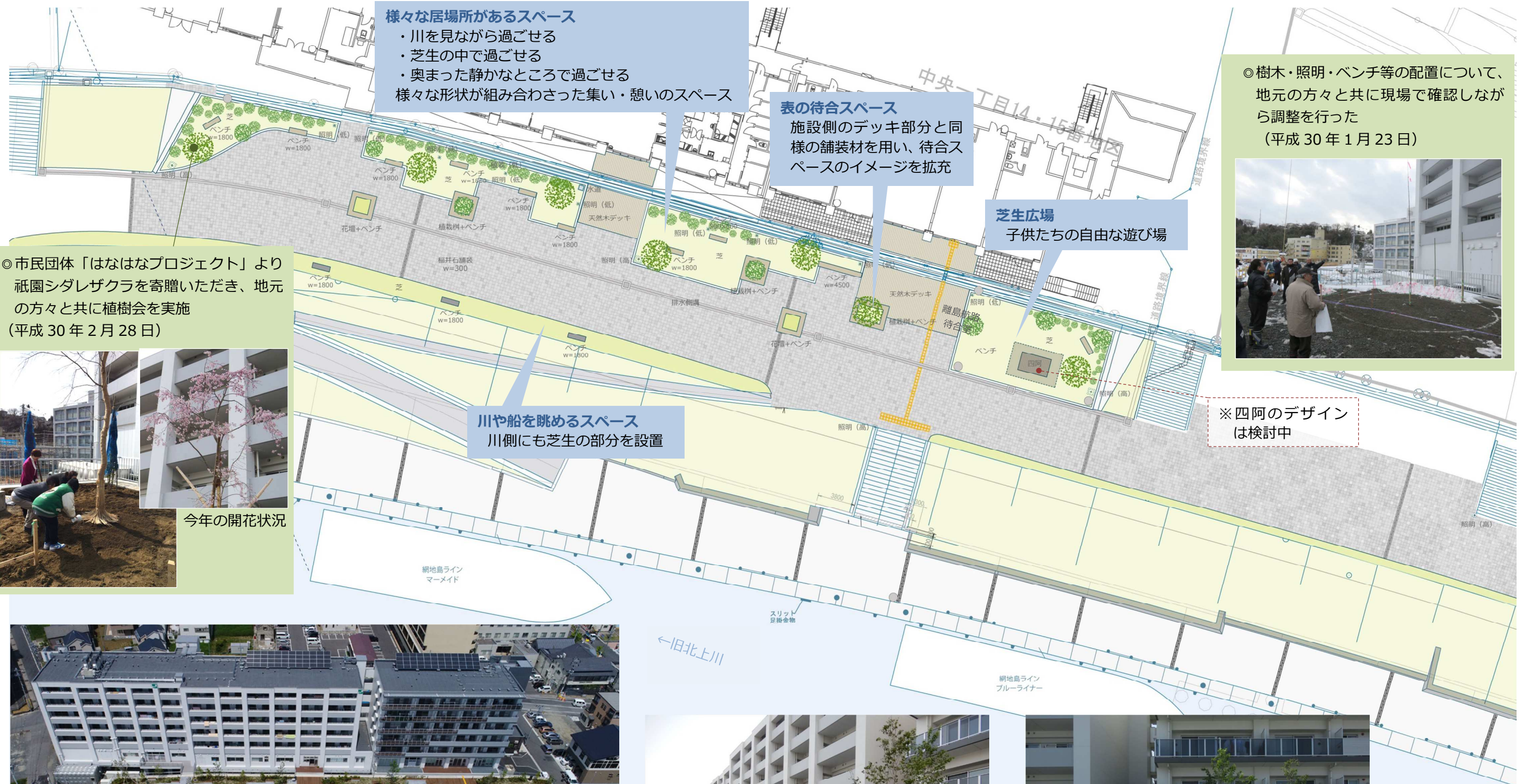
施工に向け詳細設計を実施中

中央門脇一丁目地区 市民部会 「中央門脇 川と未来の会」

- 日時：平成29年11月23日（木）13時30分～16時30分
- 場所：石巻中央公民館 大ホール
- 参加人数：13名



①中央一丁目14・15番地区



様々な居場所があるスペース
 ・川を見ながら過ごせる
 ・芝生の中で過ごせる
 ・奥まった静かなところで過ごせる
 様々な形状が組み合わさった集い・憩いのスペース

表の待合スペース
 施設側のデッキ部分と同様の舗装材を用い、待合スペースのイメージを拡充

芝生広場
 子供たちの自由な遊び場

川や船を眺めるスペース
 川側にも芝生の部分を設置

※四阿のデザインは検討中

◎市民団体「はなはなプロジェクト」より祇園シダレザクラを寄贈いただき、地元の方々と共に植樹会を実施 (平成30年2月28日)



◎樹木・照明・ベンチ等の配置について、地元の方々と共に現場で確認しながら調整を行った (平成30年1月23日)



完成後の状況 (上空より全体を見る : 平成30年5月末現在)



ベンチ・植栽樹等



完成お披露目会 平成30年5月25日

【舗装】

◎図とならない（目立たない）舗装パターン
 ⇒30cm 四方のコンクリート平板ブロックを使用し、落ち着いた印象の色彩（ミディアムグレーを主としたコンクリート平板）



ミディアムグレーを主に、明度の異なる平板ブロックをランダムに配置



井内石のボーダー（アクセント）

【照明】

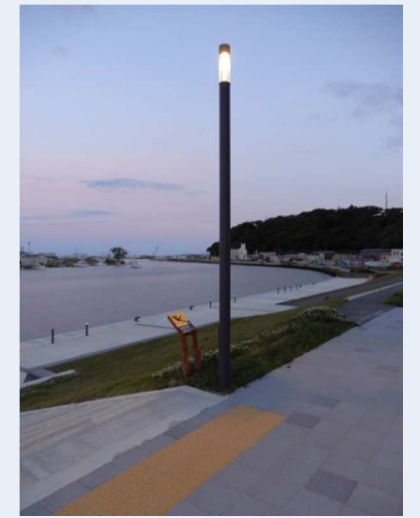
◎シンプルかつ洗練されたポール型の照明灯



内海橋から見た状況



照明（低）h=0.8m



照明（高）h=4.5m

【デッキ部分の舗装】

◎堤防一体空間のデッキ部分の統一を図るため、また、質の高い空間形成のため天然木を使用



天然木（レッドシダー）のデッキ

【ベンチ】

◎コンクリートの四角柱に、座りやすさ（素材感、印象等）を考慮し、木材の座面を設置



植栽樹と一体型のベンチ

【救命浮環】

◎水際に映える白を基調とした救命浮環



川側に設置したベンチ

【植栽】

◎花・紅葉等、四季が感じられるとともに、地域性に配慮した樹種
 ⇒中・高木：オオシマザクラ、ハナミズキ、ソヨゴ
 ⇒低木：カンツバキ、ツツジ 等



※堤防一体空間の利用状況

平成 29 年に行われた川開き祭りの花火の際には、多くの観覧者が一部完成していた堤防一体空間を利用しました。8月1日は、中央地区の堤防で約 5,000 人が花火を楽しみました。



②中央二丁目 11番地区

- ◎平成 30 年度内 完成予定
- ◎広場スペースの活用について官民で検討
(協議会設置に向け勉強会を開催)



現在の状況 (H30年5月21日撮影)



堤防一体空間イメージ (下流側より)



堤防一体空間イメージ (上流側より)

休憩・イベントスペース

背後施設と一体となった活用(テントやテーブル・ベンチ等の設置)を想定した賑わい空間

◎植栽

- ・植栽樹を基本に、イベント時の活用イメージ等を勘案して配置
- ・植栽樹は、中高木2本の寄せ植えを基本に計画
- ・詳細の配置は、施工時に確認

◎デッキ部分の舗装

⇒施設側と堤防一体空間のデッキ部分の統一を図るため、天然木(レッドシダー等)を使用

◎井内石ボーダーの配置

⇒テラス空間と天端部の配置を合わせ、パターンの整序化を図る

背後施設と堤防一体空間をつなぐデッキ・階段

屋外サロン

背後施設とつながりのある活用スペース

※四阿のデザインは検討中

◎法肩部の照明

⇒現地で比較した結果より、H=300mmの照明を配置
※赤丸部分に計8基

◎図とならない(風景の中で目立たない)舗装パターン

⇒30cm 四方のコンクリート平板ブロックを使用し、落ち着いた印象の色彩(ミディアムグレーを主としたコンクリート平板)
⇒イベント時のテント設置等を想定した舗装パターン
⇒但し、図になり過ぎないように、色の異なる舗装材を用いるのではなく、日影の変化で表情が出るようなブロック(表面スリット加工)でパターンを生む



全体の俯瞰イメージ

③交通広場前

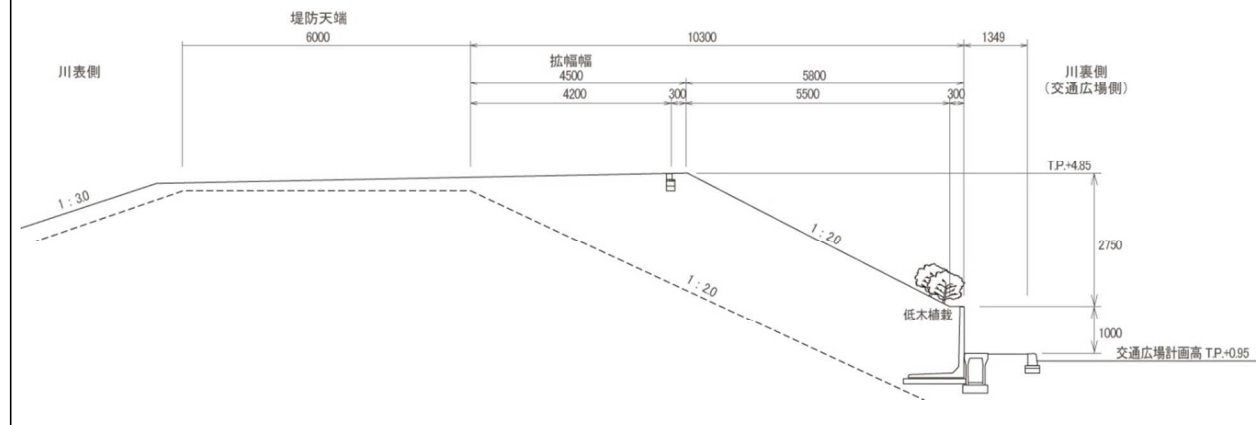
【決定事項等】

- ①川裏側法尻擁壁形式：L型擁壁 壁高 h=1.0m
- ②天端部の平面配置：堤防天端幅 W=6.0m、拡幅幅 w=4.5mを基本とし、使い勝手を考慮して、直線形状とする
- ③転落防止柵をなるべく設置しない方向で、安全対策ならびに細部形状等について検討を行う。



【基本形状の決定】

- ◎交通広場前の基本形状は、勾配 1 : 2.0 の法面として、法尻擁壁部の上部に植栽を施すことで、万が一の転落の際の緩衝帯となる「法尻植栽案」とする。



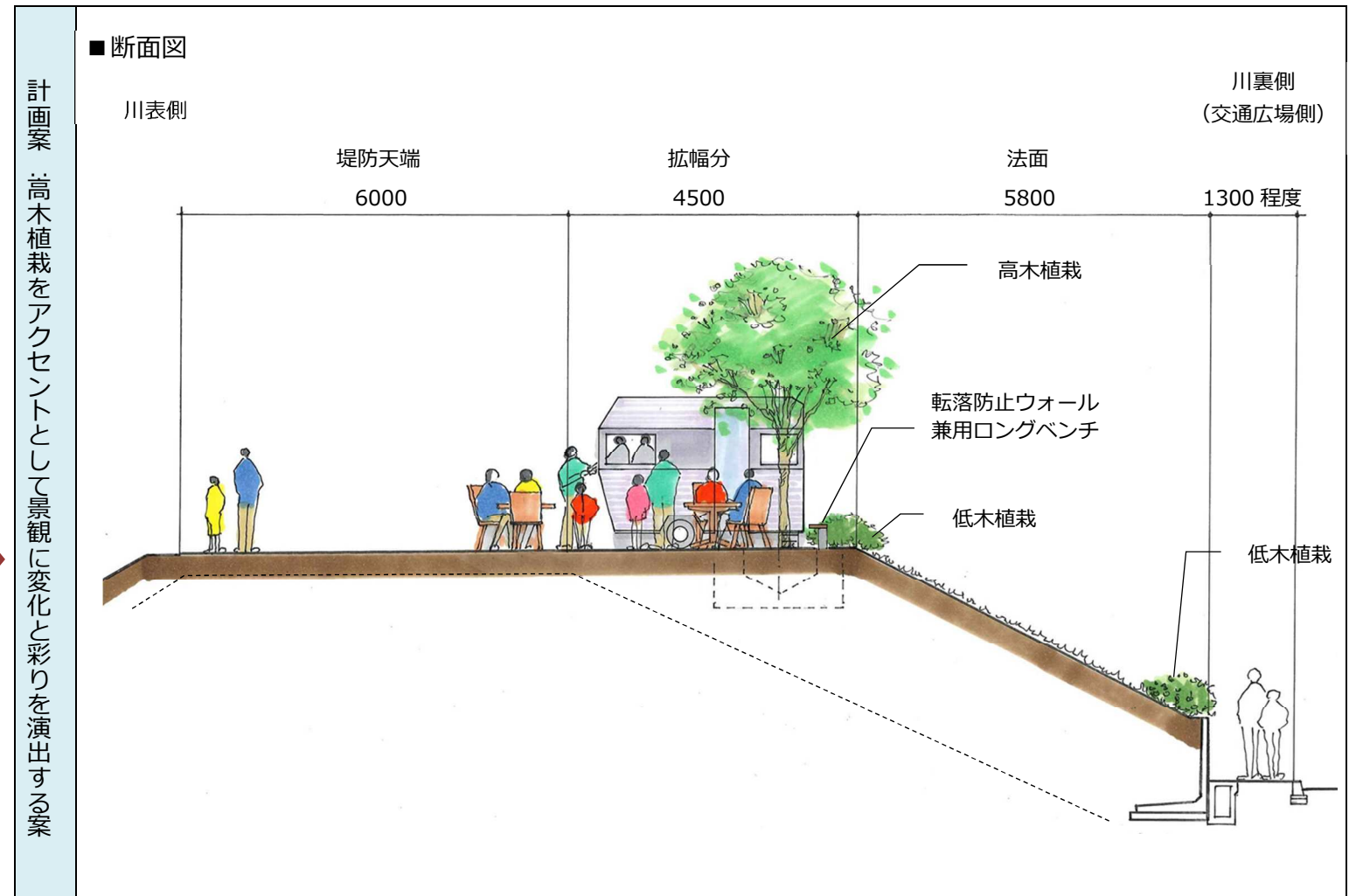
上記の基本形状を基に、天端部の設えについて検討を実施

- ◎キッチンカーの設置スペースを設ける
- ◎キッチンカーを設置しない際にも、閑散とした雰囲気にならないように配慮する

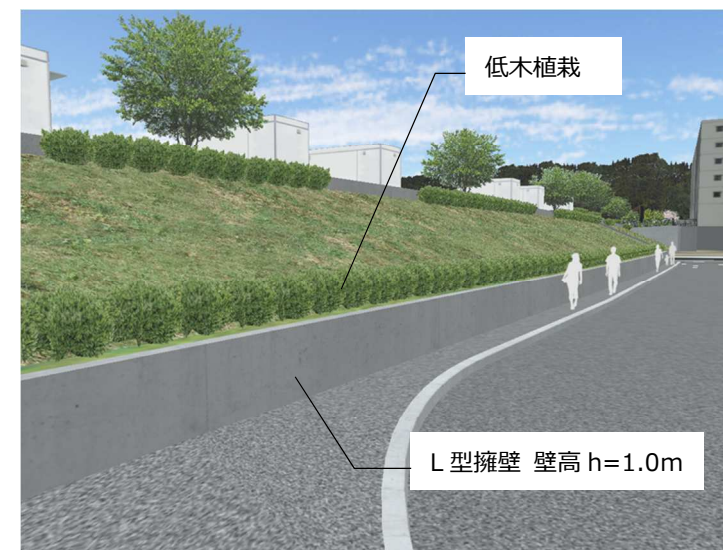


《高木植栽をアクセントとして景観に変化と彩りを演出する》

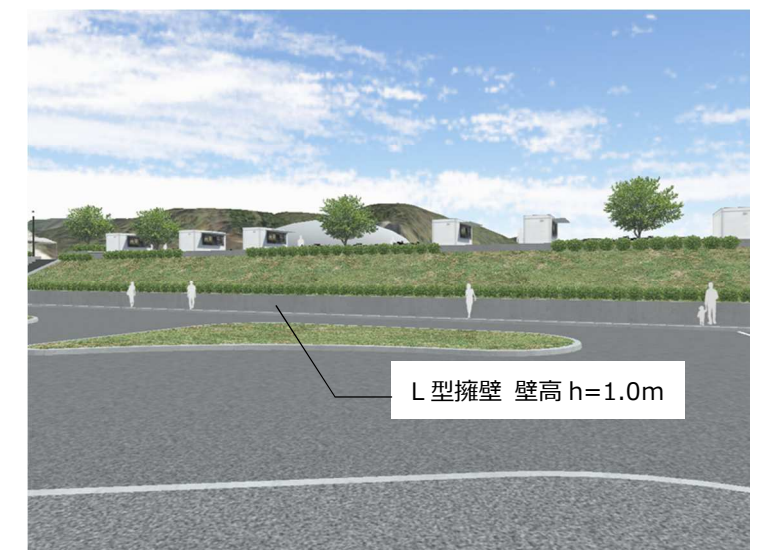
- ・対面するキッチンカーの中央に、植栽樹（高木）を設置
- ・合わせて植栽樹の背後に低木植栽帯を配置
- ・法肩部にベンチも兼ねた転落防止ウォールを設置
- ・階段端部に植栽スペースを設置（転落防止を兼ねる）



■川裏側法尻擁壁形状イメージ

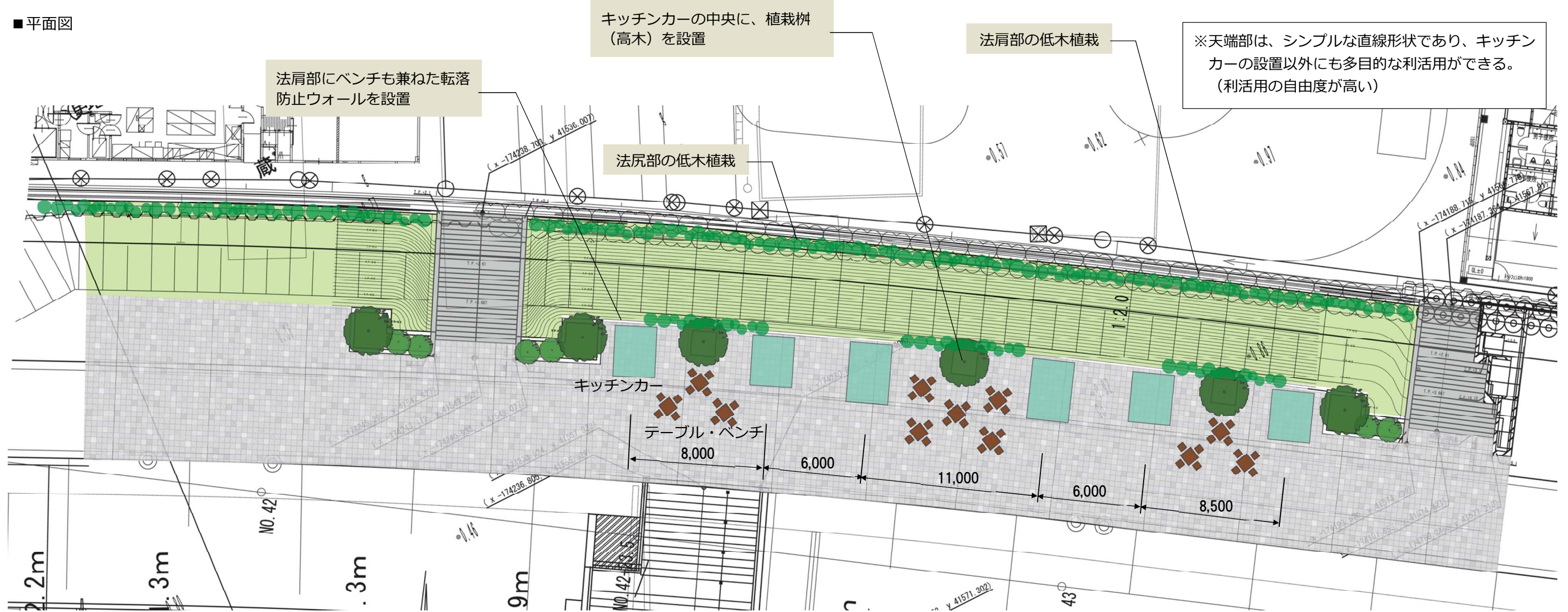


いしのまき元気いちば側より



広小路側より

■平面図



■天端部の整備イメージ

